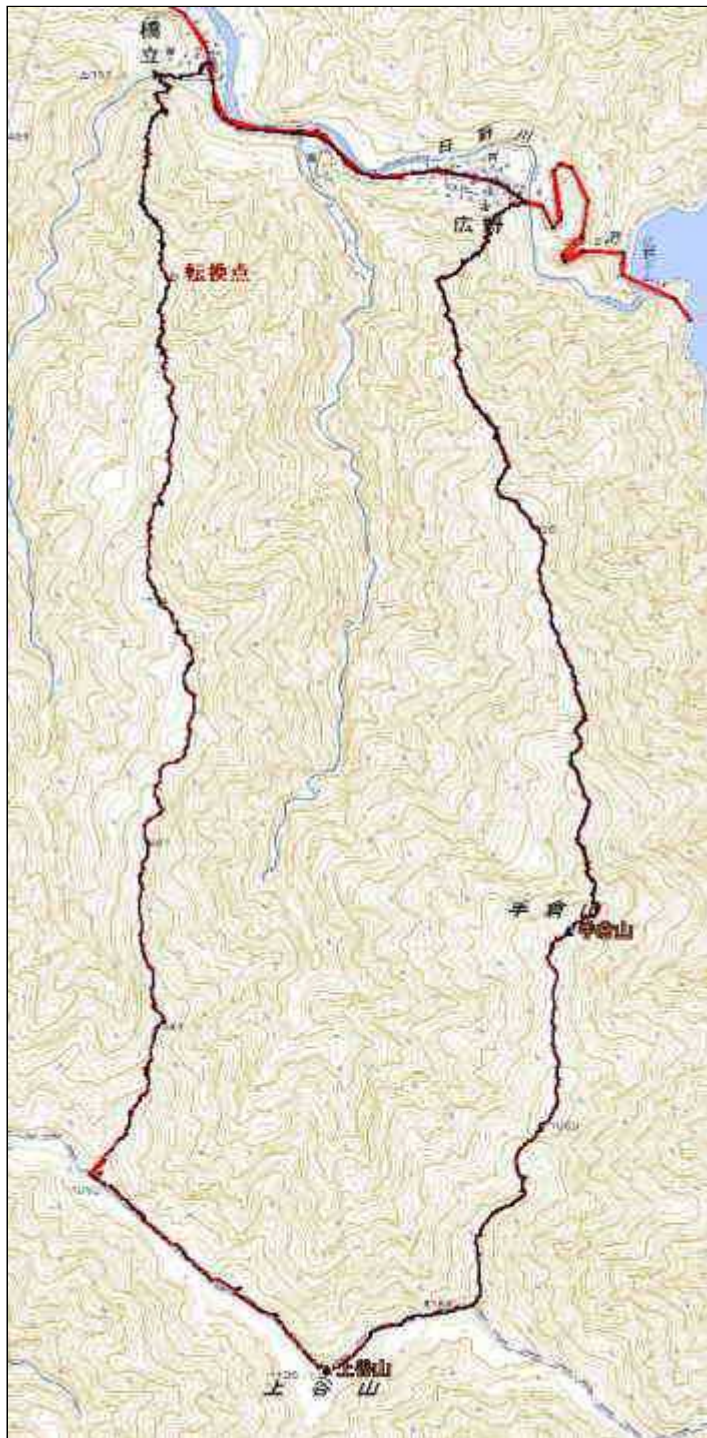


上谷山スキー 2010年1月



またまた予定を変更して、Nさんと上谷山に行くことにした。老人クラブにも声をかけたが急なことで予定が詰まっており、妻も今回は家で留守番することになり2人だけで行くことになった。

報告では結構時間がかかっており、天気予報も午後からは雨になると告げていた。実際は雨は降らずずっと曇り空で、むしろ大阪の方がしとしと雨だったようで、妻は「行くんだった。」と悔しがった。

広野集落の端の方で車中泊をして、適当なところから尾根に取り付いた。

主尾根まで小1時間ほど急な斜面を上がり、主尾根へ出てからもまだ急斜面は続いた。標高700mぐらいからは緩斜面になり、徐々に周りの山も見え出した。



6:45、広野を出発



7:50、標高500mほどのところ



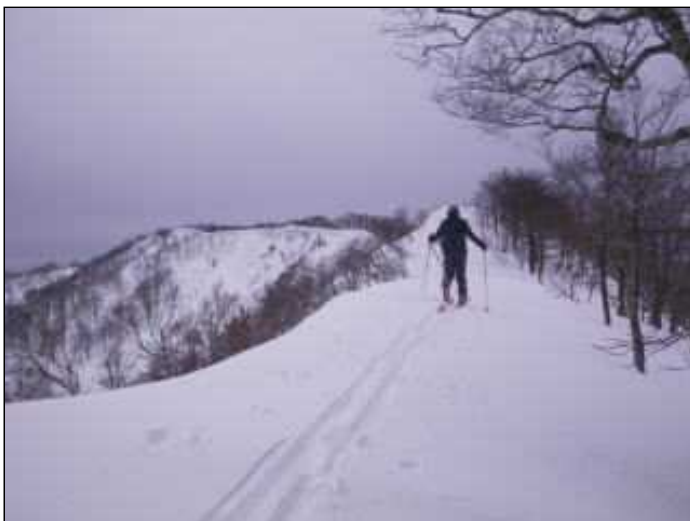
8:45、標高750mほどのところ



9:30、手倉山手前の急斜面



10:00、手倉山を越えた緩斜面



10:25、



10:30、1168mピークの分岐に向けて



10:45、上谷山の肩あたり



10:45、標高1168mの少し上を振り返る

上谷山最後の急斜面では一部アイスバーン状になっていたが、慎重に通過すれば問題はなかった。上谷山自体は非常に広い尾根で、風を遮るものは何もないので、行動食もあまり喉を通らずそそくさと下山することにした。

下りは手倉山を經由するより、我々の行った方がはるかに登り返しが少ないのだが、枝尾根に入らないように注意しないとイケない。

それに「転換点」と書いてあるところから北東寄りに行くべきところを北寄りの尾根に乗ったので、最後は川にぶつかってしまった。幸いちょっと下流に橋のようなものがあつたので対岸に渡ることが出来たが、失敗だった。ブッシュもひどく雪も緩んで横滑りも出来なかつたので、ブッシュ帯では難儀した。



10:50、上谷山最後の急斜面



11:00、上谷山手前



11:05、上谷山山頂



上谷山山頂



11:20、下山開始



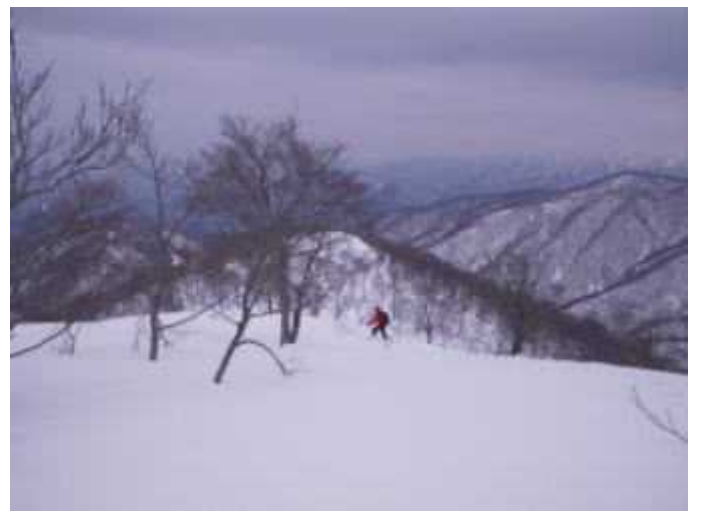
11:25、雪質はもう1つだが、快適な斜面



11:27、



11:40、登り返しもある



11:45、1082m分岐より広野に向けて



11:45、



11:45、上谷山を振り返る



11:50、疎林の中の滑降



11:55、



12:05、標高880m付近



12:35、標高770m付近



12:55、標高650m付近



ヒラタケ



13:25、ブッシュ帯



14:05、川に突き当たる



14:10、橋のようなものがあり通過

我々が下りたもう一つ西寄りの尾根はもっ



14:15、橋立集落到着

と快適そうに見えたが、下の方のブッシュの状態が気にかかるところだ。

ちょっと時間が掛かるが、余呉高原スキー場へのコースを検討してもいいかも知れない。

14:40、駐車していたところまで帰着

目次が表示されていない場合は、下のバナーをクリックして下さい。

目次が表示されている場合は、目次ページの「HOME」をクリックして下さい。

「外国の山」・「信州の山」・「冬山・春山・ロッククライミング」・「山スキー」・「近畿の山」と多彩な山々を紹介しています。ぜひご覧ください。

